



発行所

〒393-0051 下諏訪町大社通
下諏訪市市民新聞社

編集・発行人 薩摩 建

電話 代表 27・4444
FAX 27・9115

インターネットページ
www.shimin.co.jp
E-mail
shimosuwa@shimin.co.jp

©下諏訪市市民新聞社 2018年

定価 1ヵ月1,420円
1部売り50円 (税込み)

本紙をお届けする販売店

渡邊新聞店 ☎27・8114
信ふれあいネット下諏訪 ☎27・7602
毎日新聞下諏訪店 ☎27・8552
読売センター下諏訪駅前 ☎27・3883
中日新聞専売所 ☎27・7166

□高木地区□
浜新聞店 ☎52・1107
毎日新聞上諏訪専売所 ☎52・1073
コンビニもご利用ください

湖の環境保全へ意見交換

「川ごみサミットin下諏訪」は24日、下諏訪総合文化センターで開いた。県内外から約130人が出席し、町にとって身近な諏訪湖などを題材に、湖岸清掃や環境学習といった実体験を基に事例発表。それぞれの立場で意見交換する中で、湖の水質浄化がより進み、その環境を次代へつないでいく方策を探り合った。

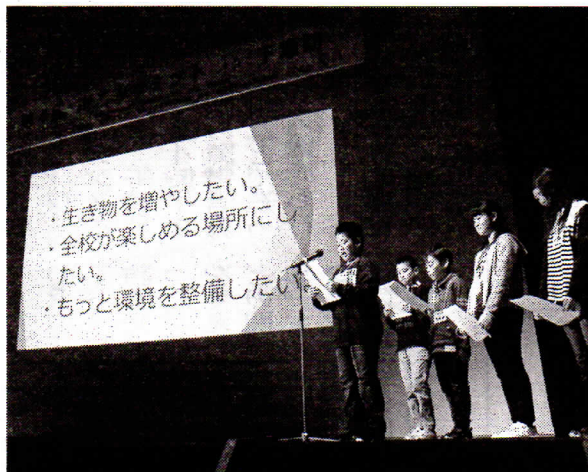
川ごみサミット in 下諏訪



サミットは河川や湖、海の環境について考える「全国川ごみサミット」の第1部では、下諏訪

「川ごみサミット」と町諏訪ネットワーク」と町諏訪湖浄化推進連絡協議会が主催。1、2回を都内、3回を京都府内で開いたのに続き4回目、町制施行125周年記念事業に関連して計画した。

第1部では、下諏訪



進めてきた環境学習の内容を発表する南小児童

を投げ掛けた。それを基に児童と、

保全に取り組む団体や有識者でディスカッションを展開した。参加者の一人、青木悟町長は「諏訪湖の環境について考えていない人が

一部にいるのも事実。そういう人に清掃に参加してもらいたい」と自発的な意識高揚に期待。湖に親しむことができるまちづくりを通じて、捨てづらい環境に近づけていく必要性も語った。

登壇した百瀬琳さん(12)は「離れている所から諏訪湖を見るときに近づく、近づく汚く見える場所もある。近くで見てもきれいな諏訪湖になってほ

しい」と願っていた。第2部では地域企業や行政などが持続可能な活動をテーマに話したほか、会場には小学生による環境学習の内容をまとめた模造紙を掲示した。町湖浄連の橋詰強志会長は「諏訪湖の環境保全への意識を更に広める足掛かりになれば」と話した。

